

2023.04.20. 木曜礼拝「神があなたを沈黙させられる時」

エゼキエル4-5章

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 天のお父さま、あなたの御名は聖くあられます。主よ、私たちが共に集い、主を礼拝し、賛美できるのは、なんと特別な時間でしょう。私にとっては、う～、大変な一週間でした。あなたはすでにそのことをご存じです。ここまでの1週間は、うんざりするほどです、主よ。主よ、私はこんな時にはただ祈ります。同じ状況にある他の全ての人々のために。試行錯誤したり、疲れているとき、私たちがあなたを礼拝できますように。主よ、私たちはあなたに叫び、その中であなたを賛美できますように、あなたはふさわしいおかたですから。主よ、この時間を感謝します。エゼキエル書の中で、私たちにお語り下さい。なんという書でしょうか。主よ、本当に感謝します。今夜、私たちに集中力と明晰さを与えられ、この時間を祝福ください。イエスの偉大な御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。こんばんは、ようこそ。どうぞお座りください。今夜、良くお越しくございました。オンラインで参加の皆さんも歓迎したいと思います。参加下さり嬉しいです。祝福されることでしょうか。では、今夜2つの章、エゼキエル4章と5章を見ていきます。これから見ていくように、非常に興味深い章です。カポノが今祈ってくれましたが、祈りましょう。私たちが神の御言葉と共に過ごす時間に神の祝福を願いましょう。よろしければ一緒に。天のお父さま、本当に感謝します。この時を感謝します。これは私たちの時間です。とても大切にしています。私たちはそれを大切にし、宝物です。週の終わりに向け、一週間の真ん中に、共に過ごせる時間だからです。私たちはこの場所を、あらゆる意味で聖域であり、休息所として見ています。私たちの人生の忙しさ、心配事や生活上の問題、ストレスや圧力、困難や試練から離れられる場所です。そして、それらすべてを脇に置き、あなたと、あなたの御言葉に集中し、御言葉において、あなたが私たちのために用意されていることに集中します。あなたはいつも語ってくださいます。あなたの御言葉のどの箇所にあっても、そこは私たちの人生に当てはまる箇所であり、あなたは私たちの状況に語ってくださいます。今夜も例外ではありません。主よ、私たちが見るべきもの、私たちの人生に語るべきもの、私たちが聞くべきもの、聞く耳を持つべきものを、あなたはたくさん見せてくださるでしょう。今晚、私たちが一緒に過ごす時間の中で、あなたが何をしてくださるのか、ただただ楽しみです。そこにあなたの祝福がありますように。そのことに感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。

それでは。この2つの章では、神はエゼキエルに沈黙を守らせませす。つまり、文字通りに。エゼキエルは、一言も話しませせん。私には出来ないと。言ってみただけです。自分のことを話しています。だからこそ、神は私に、そのようなことを召されたり、命じたりは決してなさいませせん。神はあなたができないことは、決して命じられないからです。神はご存じです。私のことは十分ですね。皆さんのことを話しましょう。私のように罪を示されるように。しかし、文字通りエゼキエルは... 3章の終わりで、神がエゼキエルにこう言っておられるのを見ました。

「ところで、エゼキエルよ、わたしはあなたの口を干上がらせ、あなたの口の上あごに舌が付くようにする。わたしはあなたをミュート（消音）する。わたしはあなたのミュートボタンを押す。」

ああ、時々そう思うことは... 気にしないでください。その話に行くべきではありませんでした。今すでに、あなたは誰かのことを考えていて、あなたの願いは... (ミュートボタンを押す) その点について、私はすぐに悔い改める必要がありますね。これが神がエゼキエルに言っておられることです。

「もう十分です。彼らはわたしに耳を傾けません。彼らはわたしに耳を傾けないので、あなたにも耳を傾けません。だから、わたしは語りません。彼らは聞かないから。」

そう、言い方も見方も雑なのですが、それは、聖化したような形のサイレント・トリートメント（無視）のようなものです。

「わたしは語らない。わたしはあなたを沈黙させ続けます。しかし、聞きなさい。わたしはあなたを沈黙させるが、それは非常に大きな音となる。あなたの行動を通してわたしが行くことは、この表現が実に矛盾していることをご存知でしょうか、「沈黙が耳をつんざく」これが、これから見ていく中で起こっていきます。言い換えると、

「わたしの沈黙、あなたの沈黙は、非常にうるさいものになります。それは無視できないほど力強いものになるでしょう。わたしがすることは、エゼキエルよ、あなたに何も言わせないことです。しかし、あなたにしてもらうことがあります。」

もう一度、この表現です。「行動は言葉よりも雄弁である」まあ、ほとんど控えめな表現ですが、というのも、今夜のエゼキエルは、行動は言葉よりも雄弁であるだけでなく、行動はこれまで以上に雄弁になると言ってもよいからです。その行動は、とても大きな声で語ります。言葉は必要ありません。そのことをこれから見ていきます。4章1節。

—エゼキエル 4:1—

人の子よ。あなたは粘土の板を一枚取り、それを自分の前に置き、その上にエルサレムの町を描け。

—エゼキエル 4:2—

それから、それに対する包囲網を張れ。それに対して壘を築き、包囲壁を作れ。それに対して陣営を設け、周りに城壁崩しを配備せよ。

—エゼキエル 4:3—

また、鉄の板一つを取り、それをあなたと町との間に鉄の壁として立てよ。…

今、彼はバビロンにいることを念頭に置いてください。いいですね？

…あなたが自分の顔をしっかりとこの町に向けると、この町は包囲される。あなたがこれを攻め囲むのだ。これがイスラエルの家に対するしるしだ。

OK。のっけからです。これは両章を通して最後までずっと続くので、慣れておいたほうがいいでしょうね。これらの視覚的な預言、これらの行動、エレミヤがしていること。言葉はいりません。それは彼が何を言っているかではなく、何をしているかです。言葉ではなく、行動です。ところで、彼らはバビロンにいます。バビロンの捕囚たちは、まだ偽預言者たちが言う言葉に耳を傾け、信じ、惑わされていたからです。

「おい、皆、私たちはここに長く居ることにはない。心配するな。私たちはエルサレムに戻る。私たちはここに70年居ることになるとエレミヤが預言したことは知っている。こっちにはエゼキエルが居て、あっちにはダニエルが居て、エレミヤと同じことを語っているのは知っている。しかし、それは真実ではない。」

ここで、エゼキエルは、「いいえ、真実です。あなたがたは私の言葉を聞こうとしません。神が私に、あなたがたは私に耳を傾けないと言われました。あなたがたが神に耳を傾けないからです。だから、別の方法を試します。どうですか？ 私のミュートボタンを神が押されたので、もう話すのを止めます。

とにかく、私は話せません。そこで、私たちは、預言を語るのではなく、このようなものを使って、預言

を説明し、実証することにしました。限りなく力強いものになるからです。」

ここで、私の考えです。一緒に考えてみてください。このような時こそ、神に与えられた想像力を働かせる必要があります。ではこの場面を思い浮かべてください。そこに自分を置いてみましょう。ここに、エゼキエルがいます。彼は、テル・アビブというケバル川のほとりにいます。(イスラエルの)テルアビブではありません。その首都バビロンに近い地域です。彼は首都ではなく、その近くにいます。しかし、多くの捕囚がこの場所に連れて行かれ、神はエゼキエルを神の意図によって、当時の捕囚のためにその特定の地域に任命されました。そして、彼らはエゼキエルを知っています。実際、彼らはエゼキエルが歩道を歩いてくるのを見ます。歩道があったと思います。ここで、エゼキエルがやって来ます。彼らは別の道を行き、通りを横切ります。「ほら、あいつだ。」彼らは疫病のように避けていきます。でも、今度は違います。

「おお、エゼキエルがいる。ん？彼は何をしているんだ？ ふむ...。」

興味津々です。彼は粘土の板を取って...ちなみに、これらは黒板のようなものだと考えてください。この粘土板に絵を描くのです。iPadのタブレットではなく、粘土のタブレットで、その上に絵を描くようなものです。この板にエルサレムの街を描き、さらにこの鉄の板を手に取ります。そして、エルサレムがどのように包囲されるかを実演します。エルサレムはまだ、破壊されていなかったからです。神殿はまだ残っていました。それは何の役にも立たないですよ？ここで偽預言者たちが、こう言っているからです。

「さあ、神殿はまだ残っている。エルサレムは…。ちなみに、私たちは神の民だ。神はそんなことが起こるのを許されない。それは全く理に適っていない。そうでしょう？」

エゼキエルが直面しているのは、神殿がまだ建っているということです。今、エルサレムは破壊されました。そこで神は、「エゼキエル、ここで視覚的なことをしよう、そうすれば彼らの注意を引くことができる」と言われます。「まず、あなたは話さないように。」それだけでも。

「なぜ、彼は話さないんだ？」今、彼らの注意を引きました。「彼は何を描いているんだ？近くで見よう。」そこで彼らは、エゼキエルから離れるために横切った道を再び横切ります。今度は、彼が描いているものを見るために、彼の近くに行きたいのです。エゼキエルはこの板にエルサレムを描いています。では、鉄の板は何のためにあるのでしょうか？「お～、おお...。わお...」

さて、4節です。これはエゼキエルが、今それを終えたばかりです。エゼキエルは彼らの注意を引いたと言えるかもしれませんが、今、彼は本当に彼らの注意を引く事ができるでしょう。注目下さい。4節。

—エゼキエル 1:4—

あなたは左脇を下にして身を横たえ、イスラエルの家の咎をその上に置け。あなたがそのように横たわっている日数だけ彼らの咎を負え。

—エゼキエル 1:5—

わたしはあなたのために、彼らの咎の年数を日数にして三百九十日とする。このように、あなたはイスラエルの家の咎を負わなければならない。

—エゼキエル 4:6—

あなたがこれらのことを終えたら、次に右脇を下にして身を横たえ、ユダの家の咎を四十日間、負わなければならない。わたしは一年を一日としてあなたに課す。

—エゼキエル 4:7—

それから、あなたは顔をしっかりと、包囲されているエルサレムの方に向け、腕をまくり、これに向かっ

て預言せよ。

—エゼキエル 4:8—

見よ。わたしはあなたに縄をかけ、あなたの包囲の期間が終わるまで寝返りができないようにする。

冗談でしょう？ 神はエゼキエルを、イスラエルとユダの咎の年である 1 年に相当するその日数の間、横たわらせておくとおっしゃるのですね。もちろん、イスラエルは 390 というとても大きな数字です。ある聖書解説者は、実際に列王記や歴代誌を遡ると、394 年となり、彼らが実際に主の御前に正しく、まっすぐに歩んでいたのは 4 年未満だと指摘しています。そうすると、390 になります。そして、40 年とは、ユダ、南イスラエル、エルサレムのことです。実際にその年数を歴代誌や列王記で辿ることができます。では次に、このことをきちんと理解できたか確認しましょう。エゼキエルは今、390 日間横たわっています。1 年以上ですよ？ 神は、もし寝返りをうって反対向きで寝ようとしても、そうさせないと。そして、390 日が終わると、ちょっと待ってくださいね、もう少しで意味がわかりますから。

本題に入ります。390 日を終えたら、さらに 40 日間、ユダのために反対を向いて横たわらなければなりません。なるほど、これは本当に会話のネタになりそうですね？ 街の賑わいを想像できますか？ 巷の噂。

「ねえ、今エゼキエルがしているのを見た？」「いいえ、何してるの？」「彼は横を向いて寝ているんだ。どうやら彼は毎日、一日中、そうしている。どういうことなんだ？」聞いてくれて嬉しいです。それは、視覚的な預言です。それは言葉のない預言で、どうやら言葉では決してできないような力と衝撃を与えているようです。みてください。あなたはすでに語っている。なぜ彼はそうしているのか？ おお、その理由が分かるでしょう。彼がそうせねばならなかつたとは考えないでください。これをずっととはできません。次に彼が命じられることは、彼が一日中そこにいるわけではないことに気づかせてくれることでしょう。一日のうちで最も忙しい時間帯に、人々がエゼキエルの姿を目にしたという説もあります。その好奇心が刺激され、人々は質問します。

「ああ、この男は預言者だと知っている。私たちは彼が気に入らない。彼の勇気が本当に嫌いだ。でも、これは、非常に奇妙だ。」もしかしたら、これはまさに神かもしれない。そうですね？ つまり、意図したことが達成されています。9 節。このため、彼がずっと横になっていたはずがないことが分かります。

—エゼキエル 4:9—

あなたは小麦、大麦、そら豆、レンズ豆、粟、裸麦を取り、それらを一つの器に入れ、それで自分のためにパンを作り、あなたが脇を下にして横たわっている日数、すなわち三百九十日間それを食べよ。

—エゼキエル 4:10—

あなたが食べる食物は、重さにして一日分二十シェケルである。一日一回それを食べよ。

これは、「神の裁き」を計ることを語っており、非常に興味深いです。はかりの上でバランスをとっています。また、飢饉の時に計る配給についても、二重の意味で語られています。

—エゼキエル 4:11—

あなたが飲む水も、六分の一ヒンを量って、それを一日一回飲め。

1 パイントくらいでしょうか。あまりないため、時折、控えめに飲むこと。

—エゼキエル 4:12—

あなたは大麦のパン菓子を食べよ。…

ここ我慢ください。

...それを彼らの目の前で、人の糞で焼け。」

「目の前で」彼らは見ます。あなたがしていることを彼らは見ます。人の糞？ さて、多くの方は夕食を食べたばかりだと思います。それは申し訳ないです。覚えておいてください。

—エゼキエル 4:13—

主は言われた。「このようにイスラエルの民は、わたしが追いやる国々の中で、自分たちの汚れたパンを食べなければならない。」

主が何を言われたのか分かりますか？ では、今、エゼキエルは人に語っているのではなく、神に語っています。

—エゼキエル 4:14—

そこで私は言った。…

エレミヤがこの言葉を言ったことを思い出してください。英語ではこれを適切に表現する方法はありません。「ああ…」「はあ…」これは全然近くありません。

…「ああ、神、主よ。」

…ああ…止めましょう。もう十分ですね。台無しにしています。ポイントは分かったと思います。ただ深いため息と、うめき声を想像してください。

…「ああ、神、主よ。私は身を汚したことはありません。幼い時から今まで、死んだ動物や野獣にかみ裂かれたものを食べたことも、不浄な肉を口にすることもありません。」

—エゼキエル 4:15—

すると、主は私に言われた。「では、人の糞の代わりに牛の糞でよい。あなたはその上で自分のパンを作れ。」

なんて？ 分かりました、ここにはいくつかあります。繰り返しますが、私は我慢くださいと言いましたね。では、エゼキエルは神の御心を変えたのでしょうか？ いいえ。エゼキエルは、人の糞について神に叫び、何を成し遂げたのでしょうか。神はその叫びの声に耳を傾けてくださいました。神の恵みと憐みの中で、

「いいでしょう、エゼキエル。分かりました。」でも、人の糞から、牛の糞に置き換えることになります。私にとっては、それでも、、、(吐きそう)そうですね？ なんていうことでしょうか。さて、これは実際に…いや、必要ありません。皆さんの気分を害したくありません。自分の気分も害したくありません。しかし、これは実際に、現代では考えられないようなことです。彼らは実際にこのような手段を取ったのでしょうか。これがこの視覚的な預言のポイントのようなものです。では、ここで続けましょう。

それで、より明確になり、また腑に落ちるようになるでしょう。

—エゼキエル 4:16—

そして私に言われた。「人の子よ、見よ。わたしはエルサレムで、パンの蓄えをなくそうとしている。彼らは恐る恐る量ってパンを食べ、おびえながら水を量って飲む。」

—エゼキエル 4:17—

こうしてパンと水が乏しくなり、だれもかれもが茫然として、自分たちの咎のゆえに朽ち果てる。

この章は、エルサレムで彼らがどれほどひどい目に遭うかを、生々しく預言的に示すことで終わっています。実際、このパンと水の配給、そして水を飲み、計量された配給のパンを食べるときでさえも、この状態がいつまで続くのかという不安と心配、そして恐怖を感じながら、そうするのです。というのも、包

囲網の中で、彼らは水の供給を断たれていることを理解せねばなりません。その貯水槽に残っているものが、彼らの全てです。食料の供給が途絶えてしまいました。だから、本当にひどいことになります。そして、この視覚的な預言、このように計量され配給されるこのパンの実演、例示は預言でした。力強い、語られない預言です。行動のみ、視覚のみで、人々は理解したでしょう。

「ああ、だからエゼキエルはそうしているのか。」あなたは希望を待たなければなりません。愛はすべてを望むものですから、少なくとも、今彼がそうするのを真に受け止める人がいたはずです。では、続けて5章です。神は、視覚的にされたいことがさらにあられるようです。

—エゼキエル 5:1—

人の子よ、あなたは鋭い剣を取れ。それを床屋のかみそりのように使って、あなたの髪とひげを剃れ。剣ではそんなことはしません。

...それから秤を使って量り、(もう一度出てきます) その毛を分けよ。

ほら、神はこのことをさせるために私を召すことは決してありません。足りないだろうし...— (笑) — 剣を使うので血だらけになってしまいます。話が逸れました。2節。

—エゼキエル 5:2—

その三分の一を、包囲の期間の終わるときに町の中で焼き、またもう三分の一を取って町の周りで剣で打ち、残りの三分の一を風に乗せて散らせ。わたしは剣を抜いてその後を追う。

さて、これは彼の視覚的なエルサレムの包囲です。だから、彼は今、自分の髪を取っています。ちなみに、これは特に司祭として考えられなかったことです。髪は神の祝福の象徴だったからです。ナジル人の誓いを考えてください。カミソリが頭に当たることはありません。あの記述を覚えていますか？ 実は、今思いついたのですが、最も、厄介な記述の一つでした。ダビデが親善のために部下を送ったところ、彼らは恥をかかされました。(IIサムエル10参照)

恥ずべきことでした。究極の恥辱であり、恥ずべきことです。敵はダビデの部下を捕らえ、体中の毛を剃って、ダビデのもとに送り返しました。「どうだ、ダビデ？メッセージを受け取ったか？」

ダビデは、彼の名誉にかけて、彼は憤慨しました。当然のことです。ダビデは彼らを連れて行き、こう言います。

「あなたの髪が生えるまで世話をします。このことも私が対処します。」主は、ダビデに指示を与えられ、彼はそうします。本当に魅力的な内容です。そこでポイントは、それを持ち出したのは、髪が何を象徴しているのかを理解せねばならないからです。エゼキエルにはこの髪があり、今度はカミソリではなく、剣を手に取り、自分の髪をすべて剃り、3分の1に分けているのです。この様子をすぐに見ていきますが、「3分の1」と彼がそれを使って行うことには理由があります。

—エゼキエル 5:3—

あなたはそこからわずかな毛を取って、あなたの衣の裾に包み、

これは、エルサレムに残ったごく少数の人々の姿を預言的に描いたものです。つまり、髪は民と彼らに起こったこと、あるいはこの預言の中でまだ将来的にエルサレムで彼らに起こるであろうことを表しています。なぜなら、繰り返しになりますが、彼らはこれを信じないからです。彼らはこれが起こると信じていません。だから、エゼキエルはこれを実演し、彼らもこれに気づいています。私がこれを説明するこのくだらなさをお許しください。また、よくやるように自分をその場面に置きます。もし私がその場にいたら、彼らが言っていたことと同じことを言っていたかもしれません。

「エゼキエルは今、何をしているんだ?」「おお、彼は剣を取って、自分の髪をすべて剃っている。あの板や、鉄の板、それらすべてを覚えているか? 基本的に、彼は髪を分けて、三分の一を持ち、彼は少しばかり取って、自分の衣に縛り付けました。彼は髪を手に取り、三分の一を燃やし、三分の一を剣で打ち、残りの三分の一を風のように散らしました。この人はどうなっているんですか? この人に、何があったんですか? 彼は今、何をしているのですか? 彼が今していることは、なぜですか? それが質問です。さて、この預言は、まもなく見ていきますが、これはエルサレムに残っている人々の三分の一が、都で焼かれることを予告しています。三分の一は、剣で殺され、三分の一は、散らされます。彼らは実際に、、、それは完全な不名誉、アイデンティティの喪失、全く、言いようのない恥です。

—エゼキエル 5:5—

神である主はこう言われる。「これがエルサレムだ。わたしはこれを諸国の民のただ中に置き、その周りを国々を取り囲むようにした。」

6節に移る前に、ちょっとだけご容赦ください。なぜなら、これから神が嘆いておられるのを読むからです。言い方が悪いですが、そういう風に言えるとしたら。神がエゼキエルに、その背後にある理由を説明しておられるようです。「エゼキエルよ、わたしがあなたにさせていることは、このためなのです。それは裁きです。いわば、その時の勢いで忘れてしまったり、視野が狭くなってしまうことがないように。わたしが愛する民にこのような思い切った手段を取らなければならない理由を思い出させましょう。わたしは彼らを裁かなければなりません。」ほとんど復習のようなものです。

—エゼキエル 5:6—

エルサレムは悪事を働き、(お聞きください) 諸国の民以上にわたしの定め、周囲の国々以上にわたしの掟に逆らった。実に、エルサレムはわたしの定めを嫌い、わたしの掟に従って歩まなかった。

言い換えると、神がエゼキエルに思い出させておられるようで、エゼキエルが神に疑問を抱いているわけではありません。そういうことでは全くありません。これは、神の忠実な男であり、預言者です。エゼキエルの側には、渋るような様子すらありません。また、エゼキエルが語ったという記述が全くないのも特徴的です。彼はこれらを行っているだけです。これは、神の恵みではありませんか? あなたの人生の中で、ただ、「すごい、神様、すごいです、わお...!」と感じる時があるのではないのでしょうか?

深い語彙力ですね、「わお...」と。神はご存じで、理解してくださいます。神は憐み深く、恵み深く、慈悲深く、愛に溢れ、長ーく苦しんで(忍耐深く)おられます。こんな風に言ってくださいね。忍耐深いとは、「神は長ーい間苦しまれる」という意味だからです。神は私たちのことを知っておられ、私たちの構造を知っておられます。神は私たちにはそのような傾向があり、主からの御言葉をただ思い出す必要があることをご存じです。「エゼキエルよ、」「J.D よ、」ご自分の名前を入れてください。

「これがわたしがこれを行う理由です。私は必ずしもこれを具体的に求めたわけではありませんが、しかし、いや、エゼキエルよ。わたしはあなたに答えています。あなたは今わたしに、汚れたものに深く苦悩していることを表現したところだからです。ところでそれは、法的に、厳密に言えばモーセの律法によると、神は、モーセの律法やレビ記の律法に反するようなことを彼に求めてはおられませんでした。だから、汚れたことをするように言われたわけではありませんでした。それでも、エゼキエルの訴えを神は聞かれ、神はご自身の恵みの中で、ただ彼を励まされます。公平に見て、この時点で彼は励まされる必要があったと言っていると思います。私も励ましを必要としたことでしょうか。あなたも励ましを必要としたことでしょうか。それは神がただ補足的に、言われているようです。

「エゼキエル、こっちに来なさい。少しだけ休んでももらいたい。長く寝ていると脇腹が痛くするのは分かっている。そのパンはきつと美味しくないはずですよ。そこで、わたしがしたいことは、ちょっと脇に置いておいて、ここであなたを励ましたいのです。ただわたしとあなただけで、これらのことをあなたに共有することで、このような視点を持ってもらいたい。あなたのなぜという質問にすべては答えません。」

神のご方法において、私たちはその理由を知ることはできません。しかし、これは私たちの人生において、私たちが起こっていることから目を離し、神とご自身の善と正義と公正とご自身の栄光と威厳に焦点を合わせることを、神は望んでおられるという良い例であると思います。もっとたくさんの言葉を付け加えることができますが、しません。これは一種の再調整だだと思います。そう言ってもいいでしょうか。そんな感じで…私たちを憐れんでくださる神が理解してくださらないとは決して想像しないでください。イエスのことを考えます。イエスは、悲しみや嘆きをよく知り、人間である私たちと同じようにあらゆる面で誘惑されました。イエスは感情を経験され、激しい感情を経験されました。福音書の中でそれを見ることが出来ます。イエスは思いやりがあらわれ、共感し、同情して下さいます。これは一旦立ち止るような瞬間で、神がエゼキエルを連れて来られ、こう言われます。

「エゼキエルよ、わたしはもう一度、ただあなたを励まそう。これが、わたしがこうしなければならない理由です。これが、わたしがあなたをこのことに召す理由です。」

エゼキエルは、それを理解したのだと思います。

「主よ、感謝します。私はそのことを思い出す必要がありました。焦点を向けなおす必要がありました。」自分がその渦中にいるとき、あまりにも盲目になる時があるからです。その試練や痛み、感情や感覚に強く焦点をあてているからです。それらは神の御言葉を圧倒し、上書きし、最終決定権を持つほど力強いものとなる可能性があります。だから、感情、苦悩、悲しみ、痛み、苦しみが優先されるのです。それは、神の御言葉をかき消すほどの強烈なものである可能性があります。感情が独り歩きしてしまうこともあります。あなたが置かれている状況が、神だけが許可されることを、あなたに指示することができます。絶対に、感情や気分、最終決定権を持たせてはなりません。神の御言葉が感情に対して最終決定権を持つのであり、その逆はありません。感情を否定するわけではありません。それは馬鹿げています。滑稽なことです。でも、聖霊のコントロール下になければいけないと思います。聖霊の実は、自制です。私たちの感情が聖霊によってコントロールされるようになれば、感情が自分をコントロールすることはなくなります。つまり、感情はあっても、感情に自分を支配させないように。だから、エゼキエルは....、この時、彼はまだ若いということも念頭に置いておいてください。20代です。それくらい若い時はどんな感じか分かりますね？ もちろん、一部の方は、思い出すのが難しいでしょう。

「あなたが私と同じ年齢の時はどうでしたか？」という質問を受ける時は。「えーっと...、覚えてないよ。私はもうこの歳だから。どんな感じだったか思い出せない。ずーっと昔のことだから。」

とにかく、また脱線しました。話を戻してみましよう。脳が完全に発達するのは25歳までと言われていいます。だから私は...皆さんこれに関して確認したいのですが、レンタカーを借りるには、25歳になってからでないといけません。あなたの脳、つまり前頭葉がまだ発達していないことを彼らは知っているからです。基本的に衝動的なのです。「あなたは車を破壊するので、貸しません。」やり過ぎですか？

さて、ここでエゼキエルは、25歳かもしれませんが、それでも、このような状況の中で、すべてを処理しています。彼は捕らえられ、よりによってバビロンに置かれたことを忘れてはいけません。それは、彼が訓練を受けていた祭司になるという人生の夢を砕くためでした。彼にはあと数年しかなく、20歳でト

レーニングを開始しました。彼は20代半ばで捕虜になりました。30歳でエルサレム神殿で祭司として仕えたはずだったのに。だからそれは...そういうことです。神殿で仕えるのではなく、板にエルサレムを描き、鉄のトレーを作ります。横たわらなければならず、パンを食べ、それは...何かは言いませんが...もう一度、お許してください。砕けた言い方かもしれませんが、叱咤激励のようなものです。なんだか、エゼキエルを持ち上げる必要があるようです。これはそうです。

—エゼキエル 5:7—

それゆえ——神である主はこう言われる——あなたがたは周りの国々よりも粗暴な者たちで、わたしの掟に従って歩まず、わたしの定めを行わず、それどころか、あなたがたの周りの国々の定めさえ行わなかった。

—エゼキエル 5:8—

それゆえ——神である主はこう言われる——今、わたしはあなたを敵とし、国々の目の前で、あなたのただ中でさばきを下す。

ここで止めましょう。イスラエルは非常に邪悪で、実際にソドムの罪を超えたと、聖書に記録されています。それって、すごいですよね？ 言い換えると、神が言っておられるのは、

「わたしの民は...エゼキエル、思い出しなさい。これが背後にある理由です。あなたがわたしに疑問を抱くのは分かります。あなたは忠実です。しかし、彼らはわたしの民であることを忘れてはならない。彼らはよく分かっているはずで、そして、彼らの罪は周りの国々よりも重い。周りの国々が何をしていたか知っていますか？ まあ、明らかにイスラエルが行っていることほどひどくはありませんでした。」それが神が仰っていることです。「だからエゼキエルよ、わたしは彼らに敵対する。」

—エゼキエル 5:9—

あなたのしたすべての忌み嫌うべきことのゆえに、これまでしたこともなく、（これは良くありません）これからもしないようなことを、あなたに対して行う。

10節を気の毒に思います。

—エゼキエル 5:10—

それで、あなたのうちの父は自分の子どもを食べ、子どもは自分の父を食べようになる。わたしは、あなたにさばきを下し、あなたのうちの残りの者をみな四方に散らす。

そういえば、ついこの間、「母が自分の子を煮て食べた」と読みました。これがそれほど悪化したということ以外には、あまり詳しくお話ししたくないので、ご了承ください。それは起こりました。家畜の類はすべて殺されて食べられてしまいました。彼らにはありません。だから、基本的に共食いをするしかありません。

—エゼキエル 5:11—

それゆえ...

皆さんどうですか？ これを乗り越えますよ？ 大丈夫ですか？ よし。

—エゼキエル 5:11—

それゆえ——神である主のことば——わたしは生きている。あなたが、あらゆる忌まわしいものと、あらゆる忌み嫌うべきことによって、わたしの聖所を汚したので、...

これが... 分かりましたか？ これは神の御前で忌み嫌われること、聖所を汚すレベルにまで達しています。

...わたしもまた身を引き、あわれみをかけない。わたしもまた、惜しまない。

これは、主の御目から見て、どれほど忌まわしく、憎むべきことであったか、言い尽くせないと思います。ある人はこう信じていて...当然の理由と思うので、あまり詳しく説明したくないのですが、しかし、その汚れ、放蕩、性的不道徳は比類ないレベルでした。また、先ほど話したように、ソドムとゴモラの罪に匹敵するほど、忌まわしいものでした。実際、私の記憶が正しければですが、神はエルサレムをソドムやゴモラの姉妹都市とさえ言うておられます。つまり、両者の間には親族関係があったと言えます。

それほど酷かったのです。そして、何がそれほど忌まわしいかという、それが神殿で行われたことです。さて、一緒に頑張ってください。これを視野に入れることで、皆さんの頭の中を整理することができますからです。繰り返しますが、細かいことは言いませんが、それはこんな感じでしょうか。これは教会です。神の宮ではありません。私たちが神の宮です。これは神の教会です。ここは主がおられる聖所です。二人以上集まれば、主は私たちの中におられ、私たちは聖霊の神殿、家なのです。私たちは聖霊を宿します。だから、主の臨在がこの場所にあるのです。今、あなたは主の臨在があるこの場所に、言いようのないポルノ、公然たる性的不道徳を聖所に持ち込んでいます。あなたの注意を引きましたか？

それは主の御目に忌み嫌われるものです。なぜなら、これは主の聖所で行われていたことだからです。なぜ、神がなすべきことをされなければならないのか、このことが今、判断され、正しく理解されたのでしょうか？このことは、神が「わたしの目は惜しまない、憐れまない」と言われたことを正当化しないでしょうか。

「これは、そのような深刻なレベルにまで達しています。だから、わたしがこれからしようとしていることは、今までしたことがないようなことです。」

それほど酷く、深刻なことなのです。もう一つ。それから先に進み、締めくくります。私は神が...

また、私は決まり文句を使います。ベストではないかもしれませんが、より良いものがないので。さらに追い打ちをかけるように、彼らは理解していません。彼らはまだ心を硬くし、うなじを硬くしています。神はある意味、他の選択肢を失っておられます。神の御手は強制的に動かされた、と言えるでしょう。神はこれを行うことを喜ばれません。神はこれをされなければなりません。これを望んでおられるわけはありません。されなければならないのです。さて、12節では、いくつかの空白が埋まり、点と点がつながります。

—エゼキエル 5:12—

あなたの三分の一は疫病で死ぬか、あなたのただ中で飢饉によって滅び、三分の一はあなたの周りで剣に倒れ、残りの三分の一を、わたしは四方に散らし、剣を抜いて彼らの後を追う。

—エゼキエル 5:13—

わたしの怒りが出し尽くされると、わたしは彼らに対する憤りを収めて満足する。わたしが彼らに対する憤りを終わらせたとき、(聞いてください) 彼らは、主であるわたしが、ねたみをもって語ったことを知る。

つまり、「わたしの怒り、わたしの憤りは出し尽くされ、満足する。」満足させなければならないという意味合いです。

—エゼキエル 5:14—

わたしは、あなたの周りの国々の中で、通り過ぎるすべての者の目の前で、あなたを廃墟とし、そしりの的とする。

言い換えると、「人々は見えています。」今夜の私たちにも、当てはまる教訓があります。お聞きください。世界は私たちを見えています。注目しています。主の重い御手が私たちの人生の上にあるとき、人々はそれに気づくでしょう。自分の周りの国々、一緒に働く同僚たち、そばに住んでいる人々。

「あなたを見る者はみな、わたしが主であることを知る。」

—エゼキエル 5:15—

わたしが、怒り、憤り、また憤りによる懲罰をもってあなたにさばきを下すとき、あなたは周りの国々のそしりとどのしりの的、教訓と恐怖となる。主であるわたしがこれを告げる。

—エゼキエル 5:16—

わたしが飢饉という悪しき矢を、滅びのため彼らに放ち、あなたがたを滅ぼそうとして放つとき、わたしは飢饉をあなたがたの上にいっそう増して、あなたがたのパンの蓄えをなくす。

—エゼキエル 5:17—

わたしはあなたがたに飢饉と悪い獣を送る。それらはあなたに子を失わせる。疫病と流血があなたのうちに起こる。わたしはあなたの上に剣をもたらず。主であるわたしがこれを告げる。」

終わりです。聖書の学びではありません、章です。期待させないようにね。少しお時間をいただけませんか？ いくつかお伝えしたいことがあります。締めくくりに、まず、私たちが今読んだ、視覚的、預言的、象徴的に描かれたものはすべて、神が言われたとおりに起こったとお気づきでしょうか。いつかご存じですか？ 紀元前 586 年です。では、当時起こったことはすべて、まさに今起ころうとしていることだと言ったらどうでしょう。繰り返しますが、もし皆さんがお許しくださるなら、ただ、私の心から皆さんの心にお伝えしたいです。それが主の御心であることを信じ、願い、信頼したいのです。なぜなら、これは私たちへの警告だからです。これらの視覚的な預言は、私たちのためです。私たちにも適用できます。どうか...これについてはよく話しています。私がこう言うのに、皆さんが飽き飽きしないことを願います。こういう一節から自分自身を断絶し、切り離すのはとても簡単なことです。

「ああ、これは彼らのためだよ。B.C.586 年のことだ。私と何か関係あるの？」すべてです！ まず、神がそう仰ったら、それで決まりです。「主であるわたしがこれを告げる」それは起こります。神がそう言われたのなら、それは起こるのであり、実際に起こったのです。では、私たちにとっての教訓はなんでしょう？ 神は、それは再び地球規模で起こると言われました。7 年の患難時代と呼ばれています。

キリストを拒絶する世界に神の御怒りが注がれるときです。国に、ではありません。世界に、です。地上のすべての国々に。そして、、お分かりですね。あ～...言い方に気をつけなければなりません。

主よ、どうか私が、恵みに満ちた言葉でこれを言うことができるようにお助けください。7 年間の患難時代に起こることは、今読んだ出来事など、何でもないことに見えてしまうでしょう。大げさに聞こえるかもしれませんが、そうではありません。つまり...3 分の 1 は忘れてください。このことは、日曜日の聖書預言アップデートで見えていきます。黙示録 9 章までくると、ただただ呆然としてしまいます。私が言いたいのは、人口が 3 分の 1 になる可能性もあります。いなくなります。そしてこの後、何人もの人々、その時の地球上の人口の多くが殺されます。つまり、地球上の人口の半分以上が患難時代に死んでしまうということです。また、日曜日にこの話をしますが、私はただただ驚くばかりです。というのも、その後でも彼らは悔い改めないからです。どうしてそんなことが可能なのか？ つまり... (ため息)

分かりました。着陸させてみるのはどうでしょう。滑走路を見つけました。では、これを持ち込みます。

(笑) 私たちは、このような章から自分自身を切り離さず、神の御言葉に耳を傾けることが大切です。な

ぜなら、それらは今の世の中に生きる私たちに語っているからです。私たちがこのことを心に留め、耳を傾ける人々の中に数えられるよう、神に願います。飢饉、疫病について話したいですか？ 配給、小麦の計量について。ついでに言うと、長持ちさせるために、他の材料も全て混ぜて広めます。それはヨハネの黙示録6章です。パンを作る材料を買うのに丸一日分の賃金が必要なほど、飢饉はひどく、ハイパーインフレは信じられないほど進行します。それがやって来ます。それが当時起こったことであり、もう一度起こります。何か元気なものでスムーズな着陸に持ち込もうと思ったのですが、いや、出来ると思います。このとき、私たちはここにはいません。(会衆：アーメン) 一拍手ー
そうです、いいですね？ ジャあ、今のうちに終わった方がいいですね。お立ちください。カポノ、上がって来て下さい。ふ〜！危なかったです。でも、良い終わり方でしたね。主に感謝します。
ああ、主よ、このことに感謝します。なぜなら、…なんということでしょう。主よ、今夜の学びから私たちが得るものがあるとすれば、それは、あなたの御目に映る罪の深刻さと、それによるあなたの裁きの正しさではないでしょうか。あなたの裁きは正しく、真実です。あなたの裁きは正しく、真実です。あなたは正しい審判者であり、あなたは裁かれます。しかし、私たちはイエスの血の下にいますので、裁きを受けることはありません。それは、私たちに喜びと歓喜を与えてくれるはずで。主よ、これは現実です。これは実際に起こったことであり、そして実際に起こります。だから主よ、私たちが、当時彼らに起こったこと、そして今この世界に起ころうとしていることの重大さに耳を傾け、心に刻むことができるよう、ただ祈ります。主よ、あなたの救いに感謝します。携挙が近いことを感謝します。私たちは周りを見渡すと、あなたが言われた通りすべてが起こり、実現し始めているのが分かります。おお主よ、私たちは頭を上げます。なぜなら、私たちの贖いがとても近づいているのを、知っているからです。主よ、早く来て下さい。イエス様、お願いします。感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7